



祝祭日には国旗を掲げましょう。

# 大阪天満宮社報 第80号

## てんまてんじん



コロナ禍二年目の天神祭……………	3頁
今年の天神祭 諸神事のようす……………	4頁
語り部シアター「天神祭」……………	6頁
天満天神繁昌亭十五周年……………	7頁
新連載	
天満の天神さんと私……………	9頁

表紙解説

「管公恩賜御衣之圖」

大阪天満宮所蔵 絹本著色

縦二一・四cm 橫四一・  
近代 廣田松春筆 一幅

松浦清（大阪工業大学教授）

行李から取り出した衣装を捧げ持つ菅公の姿、すなわち「恩賜の御衣

り御衣を賜つたことを想起して詠ん  
だ漢詩ということになります。

□ として著名な画題です  
これは菅公が配流先の太宰府で詠  
んだ次の漢詩をもとに描かれたもの  
です（『菅家後集』収録）。

去年今夜侍清涼 秋思詩篇獨斷腸  
恩賜御衣今在此 捧持每日拜餘香

で、酔流先で秋を迎えた菅公は「去年」の「秋思」を漢詩に詠んでいるわけです。

恩賜の御衣今此に在り  
捧持して毎日余香を挙す)

うか。  
意訳すれば次のようになるでしょ

去年の今夜、私は清涼殿で帝のおせいりょうでん

ます。

天神を描く絵画は、中世後期から

近世を通じて枚挙にいとまがないほ

どの作例に恵まれていますが、それ

らは基本的に黒の袍の束帯姿です。

本図が狩衣であるのは、配所での姿

を描くためです。狩衣はもともと庶

民のお洒落着だったものが上流貴族間にも広がり、野外の鷹狩りなどで

用いられたことから「狩衣」と呼ばれるようになりました。フォーマルな束帯と異なり、立ち居振る舞いが楽な衣装であつたため、狩衣は公家の日常着になりました。狩衣の色彩は自由です。「北野天神縁起絵巻」（承久本／京都・北野天満宮所蔵）の巻第四に「恩賜御衣」の場面が描かれています。その場面では、簀子に置かれた行李の中に御衣が入り、傍らの菅公は白の狩衣に緑地唐草文の指貫です。本図の場合、狩衣と白菊藤袴と指貫の色の対比は計算された取り合わせでしょう。

菊池容斎、松本楓湖、下村觀山など  
著名画家の作例があります。中山秋  
湖の作例（太宰府天満宮所蔵）は本  
図とほぼ同じ構図です。それは簣子  
の上に上曇を敷き、背後の襖に明治  
天皇の御製和歌を贊とするものです  
が、両者は同じ粉本を用いた作例で  
あると考えられます。

本図を描いた画家は、画中の落款  
から「松春」すなわち廣田松春であ  
ることがわかります。松春について  
は、東京文化財研究所がネット上で  
公開する「古今名家新撰書画一覧」  
(明治三十五年)の「現今皇国各派」  
に大阪の画家として登場しますが、  
作画活動の詳細は不明です。

日本の絵画は伝統的に夜景でも画  
面は明るく描かれます。本図も画中  
に灯火を描き、月を高く掲げていま  
す。面白いのは、月が満月であるこ  
とです。画面に描かれてているのは延  
喜元年（九〇二）九月十日の光景。  
旧暦すなわち太陰太陽暦の日付な  
ので、当然、満月ではなく、上弦を少  
し過ぎた月のはずです。当日はユリ  
ウス暦に換算すると九〇一年十月二  
十四日です。ステラナビゲータで確  
認すると上弦の翌日のことと  
がわかります。もつとも本図には満  
月がお似合いでしょうか。



コロナ禍二年目の  
天神祭

先ず以て皇室の弥栄と、氏子の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

昨年より感染拡大が続き未だ終息の見通しが立たない新型コロナウイルスの影響で、当宮の夏大祭である天神祭は昨年に引き続き、陸渡御・船渡御・奉納花火等の神賑行事は中止とし、宵宮祭・鉢流神事・本宮祭を中心とした神事のみを斎行致しました。

天神祭は大阪天満宮が鎮座になつた天暦三年（九四九）の翌々年から始まつたとされ、千年以上の歴史があります。例年は大阪の梅雨が明け夏本番の始まる七月二十四日に宵宮を迎える、まだ明けやらぬ早朝午前四時に催太鼓が一番太鼓を打ち鳴らし地車囃子も一番鉦を鳴らすというのが天神祭開始の合図とされています

本宮の終わる二十五日の夜遅くま  
で境内は活気に溢れ、道眞公の御神  
靈をお遷しした御鳳輦を中心に三千

人が列をなす陸渡御は勇壮で、一万  
人以上が百隻を超える船に乗り込む  
船渡御には大川沿いに百二十万人の  
人出があり、五千発の花火が夜空に  
輝き浪速の夏の風物詩と言われてい  
ます。金色に光り輝く鳳神輿と玉神  
輿、豊臣秀吉公からの拝領と伝えら  
れる太鼓を有する太鼓中、千名近く  
の子供達が在籍する天神講獅子、そ  
の音色と独特的の龍踊りが人々の目を  
釘付けにする地車講、大川を自由自  
在に航行するどんどこ船講など、多  
くの講社の人々がそれぞれの役割を  
担い、天神祭は形成され成り立つて  
います。

の子供達が在籍する天神講獅子、その音色と独特的の龍踊りが人々の目を釘付けにする地車講、大川を自由自在に航行するどんどこ船講など、多くの講社の人々がそれぞれの役割を担い、天神祭は形成され成り立つてゐます。

係者にも相談し、やむを得ずこのよう  
な形となりました。計画が何度も  
変更になつた事、今年の天神祭こそ  
はという思いでいらっしゃった氏子  
崇敬者や関係者の皆様にお詫び申し  
上げます。

本殿では毎日、疫病退散の祝詞を御神前で奏上し一日も早い終息を祈つております。そんな日々がもう一年半以上続いていますが、未だトンネルの出口が見えないのが現状です。開催には賛否両論あるところですが、東京

祭が終わった翌日から翌年の天神  
祭のカウントダウンをはじめるとい  
う位に、人々のこの祭への思いは大  
きいものがあります。昨年の陸渡御  
船渡御の中止により多くの方々から  
残念だという声を頂戴しました。今  
年こそは例年の祭をという想いでお  
りましたが、世情を鑑み昨年に引き  
続き、神賑行事は中止するという判  
断をさせていただきました。

しかしながら、本年の天神祭では  
御祭神である菅原道真公の御神靈を  
御鳳輦にお遷しし、大川までの短い

長引くとは想像しておらず、私たちの生活も一変してしまいました。テレワークやリモート会議などが多くの行われ、それが当たり前のようになります。イベントやコンサートはネットで配信されるようになって、それに関連する事業は大きく業績を伸ばしましたが、旅行技術は格段に向上しましたが、商業や外食産業等は大きな影響を受けています。会いたい人に会えず行きたい所に行けず、いわゆる引きこもりの生活が強いられているのが現状です。

オリンピック・パラリンピックでは多くのアスリートが躍動し輝く姿は私たちに大きな感動を与えてくれました。

今出来る事を、今しか出来ない事を精一杯やる。コロナ禍にあっても出来る事は必ずある筈です。これから秋の様々な祭や、七五三シーズンを迎えます。また来年の正月に向けて新型コロナウイルスがどのような状況であっても、神社としてやるべき事をしつかりとやり対応して行く所存です。国民ひとりひとりが力を

神社でも様々な対策をし、空気清浄機や消毒液、検温器を数カ所に設

合わせこの困難を乗り越えて参りました  
く存じます。

い、仮の御旅所を設け疫病退散の神事を執り行う事が出来ました。混雑が予想された為に時間や場所を公表せず行いましたが、夕刻の還御まで

置し、祭典や御祈祷でも常にマスクを着け、結婚式に奉仕する際にはフェイスシールドやゴム手袋を着用してご奉仕をしております。何度も繋

## 今年の天神祭 諸神事のようす

本年の天神祭も、新型コロナの感染状況を鑑み、主要行事は取りやめ、神事のみを斎行することとしました。例年の七月二十四・二十五日の本殿祭、二十四日の鉾流神事に加えて、本年は二十五日に社頭前の大川畔における御旅所祭を斎行いたしました。これらの神事の様子を写真でご紹介いたします。

### 七月二十四日 午前

#### 宵宮祭 本殿

- ①御本殿にて宮司以下神職と神童役柳生晃希君他によって奉仕され、氏子総代と天神祭渡御行事保存協賛会の役員のみが参列しました。
- ②神饌に続いて白木の神鉾（二尺五寸）が神前に献進され、宮司が祝詞を奏上した後、神樂が奏され、神前の神鉾は神童へ預けられました。



### 七月二十五日 午後

#### 本宮祭 本殿

- 宮司以下神職、および神童、猿田彦、随身の各奉仕者、さらに総奉行を勤められる天神祭渡御行事保存協賛会会长代行 栗原宏武様をはじめ、各講社、団体の代表者が参列して斎行されました。

- 例年は、その他の関係者の参列もあつて殿内には百五十人を超える人が参列するのですが、今回は大幅に人数制限を行い、五十名以下の参列となりました。



**還御祭**

(16) 御旅所祭の後、還幸之儀の行列は神社に参着し御鳳輦の御扉が開かれました。

(17) 殿内の灯火を滅し、御神靈にお還り願いました。

(18) この神事で供される神饌は、古例によつて白粥一台のみとされています。

### 御旅所祭

(13) (14) 惠疫退散祈願の祝詞が奏上され、神樂が奏されました。

(15) 宮司以下神職の拝礼



この後、宮司は祝詞を奏し、神樂の後には宮司にあわせて総員拝礼を行いました。

最後に御本殿の御扉を閉じ奉り、

午後六時五分、予定の時刻をもつて

諸祭儀は無事ご奉仕が相叶いました。

令和三年 供奉所役 奉仕者

神童 猿田彦

随身 柳野柳生

耕毅 隨身

川村 春音

眞音 哲也

川北 晃希

(9) 宮司、禰宜によつて御本殿の御扉を開き奉り、以下神職によつて神饌九台が供されました。この中には高盛の御飯、御箸があります。これは餅米を蒸したもので白蒸（しらむし）といわれる「おこわ」です。

(10) 神靈移御之儀

(11) お遷しの際に用いた梅の瑞枝は神童が捧持して供奉します。

(12) 例年は渡御の供奉員にもこの白蒸を竹の皮に包み梅干しを添えて配布されています。

(13) 例年は渡御の供奉員にもこの白蒸を竹の皮に包み梅干しを添えて配布されています。

(14) 大川まで約三百メートルを御鳳輦が進行し、總奉行が前行をつとめ、宮司以下神職、御旅所祭の参列員などあわせて七十名余りが供奉しました。

(15) 大川まで約三百メートルを御鳳輦が進行し、總奉行が前行をつとめ、宮司以下神職、御旅所祭の参列員などあわせて七十名余りが供奉しました。

(16) 大川まで約三百メートルを御鳳輦が進行し、總奉行が前行をつとめ、宮司以下神職、御旅所祭の参列員などあわせて七十名余りが供奉しました。

(17) 大川まで約三百メートルを御鳳輦が進行し、總奉行が前行をつとめ、宮司以下神職、御旅所祭の参列員などあわせて七十名余りが供奉しました。

(18) 大川まで約三百メートルを御鳳輦が進行し、總奉行が前行をつとめ、宮司以下神職、御旅所祭の参列員などあわせて七十名余りが供奉しました。

## 語りベシアター

### 「天神祭」の制作にあたり

大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所長

金澤成子

弊社エネルギー・文化研究所では、関西の活性化を目指す取り組みの一環として、大阪をはじめ関西のまちの魅力を多くの方に知つていただき、住民の方や地域が元気になり、より

よいまちづくりへとつながることを願い、「語りベシアター」の活動を展開しています。まちの歴史や文化、エピソードや将来の可能性など、語りと音楽、映像をまじえた独自の手法で、楽しくわかりやすく伝え、市民向けに「語りベ」の担い手の育成もしています。今後は、若い学生の方々や海外の方々にも、ぜひ伝えていければと考えております。これまでの作品例として「曾根崎心中考」「大阪モダニズムものがたり」「甲子園ものがたり」などがあります。



島幸次様には、貴重な資料のご提供と監修のご協力をいただきました。作品は、三部構成で、各部三十分ほどの長編ですが、是非ご覧頂けますと幸いです。

◆第一部・大阪天満宮と天神祭  
◆第二部・賑わいとものなしえピソード  
◆第三部・明治以降の天神祭

◆第一部・大阪天満宮と天神祭||天神祭はどのように始まり、なぜ疫病退散を祈る祭となり、いかにして全国的に有名になったのかを解説。

◆第二部・賑わいともてなしのエピソード||御迎え人形や造り物など、祭を盛り上げ、見物客をもてなす、大阪人ならではの知恵を紹介。

◆第三部・明治以降の天神祭||時代とともに変ってきたもの、今日までずっと変わらないものは? 神事や渡御を中心に、天神祭の意味や魅力を改めて伝えます。

このたびのコロナ禍に、疫病退散を祈願し、昨年「天神祭」をテーマに作品を制作し、ONLINE配信を実施することにしました。制作にあたっては、大阪天満宮文化研究所の高

島幸次様には、貴重な資料のご提供と監修のご協力をいただきました。作品は、三部構成で、各部三十分ほどの長編ですが、是非ご覧頂けますと幸いです。

◆第一部・大阪天満宮と天神祭  
◆第二部・賑わいともてなしのエピソード  
◆第三部・明治以降の天神祭

◆第一部・大阪天満宮と天神祭||天神祭はどのように始まり、なぜ疫病退散を祈る祭となり、いかにして全国的に有名になったのかを解説。

◆第二部・賑わいともてなしのエピソード||御迎え人形や造り物など、祭を盛り上げ、見物客をもてなす、大阪人ならではの知恵を紹介。

◆第三部・明治以降の天神祭||時代とともに変ってきたもの、今日までずっと変わらないものは? 神事や渡御を中心に、天神祭の意味や魅力を改めて伝えます。

◆第一部・大阪天満宮と天神祭  
◆第二部・賑わいともてなしのエピソード  
◆第三部・明治以降の天神祭

◆第一部・大阪天満宮と天神祭||天神祭はどのように始まり、なぜ疫病退散を祈る祭となり、いかにして全国的に有名になったのかを解説。

◆第二部・賑わいともてなしのエピソード||御迎え人形や造り物など、祭を盛り上げ、見物客をもてなす、大阪人ならではの知恵を紹介。

◆第三部・明治以降の天神祭||時代とともに変ってきたもの、今日までずっと変わらないものは? 神事や渡御を中心に、天神祭の意味や魅力を改めて伝えます。

一、相州住正廣  
一、近江守久道  
一、無銘



## 御奉納



去る七月二十八日、故山本洋治様のご遺族から、「大阪天満宮へ奉納するように」との故人様のご遺志によりまして、「刀剣三振り」を御奉納賜りました。



厚く御礼申し上げますとともに、貴重な文化財として、当宮宝物庫に収めましたことをご報告させていただきます。



天満天神繁昌亭十五周年

当宮が敷地を提供している落語の定席「天満天神繁昌亭」が、平成十八年の開席から十五周年を迎える記念式典や特別公演が行われました。

大阪天満宮本殿で奉告参拝

十五周年記念式典に先立ち、去る八月二十五日には、上方落語協会の

笑福亭仁智会長を始め、十余名の嘶



を祈願しました。いつもは笑顔で楽しくお客様に接しておられます、この日は皆さん神妙な面持ちで伝統芸能の継承者たる威厳も感じられる一幕でした。

繁昌亭で特別公演

十五周年を記念して、八月三十日（月）～十月三日（日）の昼席五週にわ

当宮の三井種治  
宮司、NPO上  
方落語支援の会  
の盛岡淑郎理事  
長、および笑福  
亭仁智会長、十  
五周年記念特別  
公演実行委員長  
の月亭遊方さん

A photograph showing four men in traditional Japanese kimonos standing behind a large wooden sake barrel (tun) on a red cloth-covered table. They are holding wooden mallets (takayagi) and red ribbons (shimenawa). The barrel is inscribed with the characters '萬葉' (Myōgen) and '大藏' (Ochaya). In the background, there is a framed calligraphy piece with the character '樂' (Rei, Joy).

記念日の九月十五日には、御前十一時から繁昌亭において記念式典が行われました。コロナ感染防止のため二六席のうち一〇二席に制限して

繁昌亭で記念式典

たり、第一週から、①笑福亭松鶴一門、  
②桂春團治・露の五郎兵衛一門、  
が登壇、挨拶と鏡開きが行なわれま  
した。

天神寄席『おかげさまで15周年』

たり、第一週から、①笑福亭松鶴一門、②桂春団治・露の五郎兵衛一門③桂文枝一門、④林家染丸、⑤桂米朝一門による特別番組が組まれました。また九月十三日(月)～十九日(日)の夜席も趣向を凝らした企画で

が登壇、挨拶と鏡開きが行なわれました。

また毎月二十五日夜席で開かれて  
います「天神寄席」も、九月席は十  
五周年を記念して、天神さんに関係  
の落語と、寺井宮司と仁智会長らの

## 第二十五回

## あの人もこの人も

## 天神祭神事 音響奉仕

今回は永年に亘り天神祭の音響をご奉仕いただいております株式会社甲子社エイ・ブイ・シーの堀江大輔様をご紹介いたします。堀江様は先代社長様から二代に亘つてのご奉仕をいただいており篤いご尊敬によつてご奉仕されております。

主要な神事には多くの参列者があり、一般の拝観者も非常に多く集まつてこられます、これらの神事がどうように行われているかをお伝えするためには音響設備は大変重要な役割があります、より良い音質で放送するにはやはり専門の高い技術を必要としていますし、神事を熟知する必要があります。いつもは表に出るお立場ではありませんが、天神祭にはなくてはならないお方です。

ご奉仕のことについて御寄稿いたしましたのでご覧下さい(社務所)。  
・・・・・  
(株)甲子社エイ・ブイ・シー

堀江 大輔



マイク収音のための音響知識、多数のマイク音をバランス良くまとめるため、コンサート音響などの技術経験豊かなミキシングオペレーターが神事に関わること、またス

島のフェスティバルホール開業(昭和三十三年)から音響専門員として二十五年余り従事しておりましたが、若い世代にホールを託して退職し、自身は音響技術や知識を基礎としたクリエイティブな分野に挑むために会社を立ち上げました。

丁度その頃、当時の講社連合会顧問、安積由高様から「天神祭の神事を見音響面で良いものにしたい」とい

うご相談を受けたそうです。そして、その頃から今日まで弊社は二代にわたり、天神祭の宵宮祭・本宮祭・還御祭をはじめ、鉢流神事・船上祭の音響をご奉仕してきました。

新型コロナウイルスの影響により令和二年、令和三年の天神祭は特別な神事斎行の形をとられました。人々の交流や信頼を共にして賑わうこともままならない月日が続いておりましたが、再び活気ある天神祭が執り

行われる日が来ることを祈念し、これからも私共の音響奉仕がその一助になればと考えております。最適な幸次

## 広報室だより①

広報室では、隣接する落語の常席「天満天神繁昌亭」との協力関係も模索しています。

昨年来のコロナ禍は、よく話題になる飲食業界だけではなく、繁昌亭のようなエンターテイメント業界にも多大な被害をもたらしています。については、繁昌亭の敷地を提供しています当宮としましても、少しでもお役に立ちたいと考え、昨年は「てんま天神梅まつり・盆梅展」と、繁昌亭「昼席」の共同割引チケットを企画しました。

現在は、来年の「盆梅展」に合わせて、共同割引チケットを含む企画を計画中です。その詳細は改めてお知らせしますが、とりあえず、既に決定しました繁昌亭「朝席」についてお知らせしておきます。

## 大阪天満宮盆梅展協賛寄席

『梅だ！桜だ！お花見だ！』

『落語』『隣の桜』林家愛染、「あまた山」笑福亭鶴笑、「貧乏花見」笑福亭福笑。

『対談』「花見の極意」大阪大学教授・仲野徹×当宮文化研究所・高島幸次

弊社による天神祭神事への音響奉仕は、昭和六十年の弊社設立時に遡

## 天満の天神さんと私(1)

本物の結婚式つて

やつぱり違う!

松本 裕子

五月二日大安の天気予報。曇り突然の雷雨に注意。「どうか天神様、午後二時半から四時半までお天気にしてください。息子が挙式するのです」何日も前から祈っていた。

三ヶ月前、次男と彼女から「コロナだし、神前結婚をしようかな」と

相談された。天満宮の歴史を習った私は渡りに船。「天満宮会館が新しくなつたらしいよ。大正浪漫なモダンな感じに、古式ゆかしい儀式のミックスが素敵じゃない」とつぶやいた。二人は大阪天満宮での挙式を決め、若い元気なカップルにぴったりの白紋付と白無垢が決まった。

二時ごろから雨が止み青空も見え始めた。

いま挙式の日の写真を見ている。そう

そう、お庭で何枚も写真をとったよね。

お嫁さんの頭は綿帽



子ではなく、モダンな白い造花を散りばめ、顔もしつかり見えて、際立つていたよね。そのあと控え室で署名。梅花殿で挙式。これまで大阪天

満宮で何組のかップルが挙式をしたのだろう。その完成形の様式美の中、

午後二時半から四時半までお天気に進んでいく。神主様の祝詞も御神楽も社殿も全てが本物。本物とは何か。

それは歴史に裏打ちされた伝統美の中、伝統儀式の中にあるんだと確認し確信へと変わった。

長男夫婦の二歳と四歳の子供たちの本殿での写真。しつかり儀式を見ている。儀式中に騒いだらどうしよう。

夫婦はドキドキしながら二人を膝の上に座させていた。子供たちは儀式の間、じっと静かに見て感じて聞いていた。二人の魂は天神様のご加護の中にいたのだろう。両親がび

つなく米寿そ活け初めの式

幹事 佐野 秀子

金銀の水引しかと若松に

難波津の古し都を濡らしける

雨の色こそ歌となりけれ

藤棚の房長ながと風にゆれ

映す水面のむらさき乱る

いま一度耳朶に触れたき母の声

ふと思ひたり夜の雨ふる

東大阪 乾 恵子

金銀の水引しかと若松に

難波津の古し都を濡らしける

雨の色こそ歌となりけれ

藤棚の房長ながと風にゆれ

映す水面のむらさき乱る

いま一度耳朶に触れたき母の声

ふと思ひたり夜の雨ふる

東大阪 乾 恵子

金銀の水引しかと若松に

難波津の古し都を濡らしける

雨の色こそ歌となりけれ

藤棚の房長ながと風にゆれ

映す水面のむらさき乱る

いま一度耳朶に触れたき母の声

ふと思ひたり夜の雨ふる

東大阪 乾 恵子

金銀の水引しかと若松に

難波津の古し都を濡らしける

雨の色こそ歌となりけれ

藤棚の房長ながと風にゆれ

映す水面のむらさき乱る

いま一度耳朶に触れたき母の声

ふと思ひたり夜の雨ふる

東大阪 乾 恵子

つくりするぐらい良い子だつた。

举式の後、一層大阪が好きになつた。大阪の人、街、神社。手を伸ばせばすぐそこにある大切なもの。

「天神さん、お天氣してくれはつた。ほんまにありがとうございます。」参拝のたびにお礼の言葉をつぶやいている。

神棚に供ふる洗ひ米乾（ほ）さばあまたの雀啄みに来る

大阪 家治 綾子

草花の芽吹きに時の移ろひと

歌を求めて川辺歩みぬ

大阪 中瀬 央子

元旦の破魔矢受く手に巫女の鈴

静かに響く宮居の松に

お嫁さんの頭は綿帽

冬枯れの色なき庭に春蘭の

つづましやかに芽吹き初めたり

神戸 鈴木 敬子

身の寒さ癒やし呉れたる冬日差し

辛くも忍ぶ窓辺に臥せり

大阪 佐村 昌哉

とおり雨のやみし野山の新しき

芽吹きの気配のそこここにする

長野県 坂井田 礼子

社務所 電話番だより  
よくあるお問い合わせ

## 『新米と新嘗祭』

現在の十一月二十三日は「勤労感謝の日」の祝日ですが、昭和二十三年以前は「新嘗祭」という祭日でした。これは宮中において天皇陛下がおこなわれる祭儀であり、その年の新穀を天神地祇にお供えして収穫を感謝するとともに、ご自身もこれをお召し上がるという大変重要なご神事です。

特に、御即位の年に御一代に一度の大祭として行われる新嘗祭はより大きく厳肅におこなわれ、「大嘗祭」と呼ばれます。

そして全国の神社でも同様の新嘗祭が斎行されています。稻作を基本とする我が国の食文化という面から見てもとても大事な日であると思えます。しかし現代社会においては、食料自給率は三十七%であるとか、年間の廃棄食料が六百万トンをこえていたりするのです。その反面、国際連合の世界食糧計画で実施されて



いる世界各国への支援は、三百八十万トンにも及んでいます。  
近ごろは店頭で販売されるのは新米ばかりですから、古米は完売されたように思いますが、実はたくさん備蓄しているとも聞きます。これも一つの問題ではないでしょうか。  
薬師寺の有名な高僧は「陛下は新嘗祭までは新米をお食べになりません、陛下より先に新米を食べたら罰があたります」と仰せになつて、これを実践されていたとお聞きしました。なかなか難しいことです。この意識を持つといふことは必要ではないでしょうか。

昨今、コンビニ等のフードロスが問題となつてさまざま取り組みがされています。生物がその生命を維持する上で食物を摂取することは最も重要なことであり、文化の一部でもあります。この「食」というものについて「ありがたい」と「もったいない」をかみしめながら秋の味覚を楽しんではいかがでしょうか。

たようになりますが、実はたくさん備蓄しているとも聞きます。これも一つの問題ではないでしょうか。

黄雲禾穂滿全村 芳繞平田鳥雀喧  
輕快鋸鎌收熟稻 歸牛荷重犬鳴門  
《訓読》黄雲の禾穂全村に満ち、芳は平田を繞り鳥雀は喧（かまびす）し。輕快なる鋸鎌熟稻を收め、帰牛の荷重く犬門に鳴く。

《通釈》金色の雲のような稻穂の波が村に満ち、芳しい香りが田をめぐり雀が喧し。稻刈り機で收穫し、牛が引く重い荷で帰ると犬が門まで迎えて鳴いている。

## 浪速菅廟吟社詠草

雪稜 松村暁二撰

### 一月課題 御題 實

笙麗 坂井田礼子 松本市

累年農舍裏 祖考一蓑衣  
試著插秧節 追懷固不違

《訓読》累年農舍の裏（うち）、祖考の一蓑衣、試みに著（つ）く挿秧の節、追懷固（もと）より違（たが）わづ

《通釈》長年農具の納屋に掛けてある祖父の蓑。明日は田植えだ、雨も降つてるので試みに着けてみた。そうだやつぱり思つていたのと同じであつた。懐かしさが蘇つてきた。

### 六月課題 芒種蓑衣

苔菴 揚田崇徳 三原市

累年農舍裏 祖考一蓑衣  
試著插秧節 追懷固不違

《訓読》穿針七夕晚風柔 五色絲搖乞巧樓  
天上雙星方惜別 銀河渺渺又新流  
《訓読》穿針七夕晚風柔らかなり、  
方に別れを惜しみ、銀河は渺渺として又新たに流る。

### 七月課題 七夕彩樓

未醒 梅津史子 京都府

穿針七夕晚風柔 五色絲搖乞巧樓  
天上雙星方惜別 銀河渺渺又新流  
《訓読》穿針七夕晚風柔らかなり、  
方に別れを惜しみ、銀河は渺渺として又新たに流る。

《通釈》七夕の夕風は柔らかく、五色の糸はゆれる乞巧（裁縫の上達を願つての）楼台。天上で牽牛と織女のお会つて別れるこの銀河は広々と果てしなく、また切なく悲しく、又新に銀河は流れています。

疑う。梅の一枝が季節かと驚いたように戸いた。

# 天満宮スカウト歩みと日誌

## 『コロナ禍の中での活動』

大阪の新型コロナウイルス感染は東京に次ぐ猛威がおさまらず、スカウト活動全般の変更・中止を余儀なくされております。

スカウトの集会は、昨年四月に初めて出された緊急事態宣言以来、活動休止や変更を余儀なくされ、リモート集会も実施しております。宣言下以外でも感染対策を十分に実施し、人数を絞つての開催など工夫を凝らし、約一年半の活動を続けてきました。

今年五月には、一部リーダーとボイドー隊の班長次長の有志メンバーで、「ロケットストーブ」なる物を作成しました。ペール缶を組合せ胴体に風呂用の煙突を中に通し、上昇気流により効率燃焼できるまどです。鍋やヤカンなどを置く五徳を取付けて午前中に完成しました。ロケットストーブで作ったチャイを飲んで、ホット一息。みんなが子どもにかえる、本当に楽しい時間。

また、スカウト活動を日ごろ支えて頂いている育成会や、地域の方々をお招きする餅つきなども中止とな

り、非常に寂しい気持ちになるとともに、季節の風物詩が無くなつた虚しさを感じました。

ワクチン接種が進み、現在は次のステージへの過渡期かもしれません。何とかみんなで乗り切り、コロナ禍以前に近い活動が出来る日を考えて準備に勤しんでおります。

(副団委員長 有隅真三)  
平成二十五年八月若山神社でのボーイ隊キャンプにて



## 『活動日誌』

令和三年四月～八月

### ◆天満宮スカウト合同行事

入隊上進式・フライアップ報告式

四月 昇殿後各隊・各部門ごとに任命式等

七月 天神祭神幸行列 ボーイスカウト・ガールスカウト各代表一名が参列

六月 全部門 (在)梅プロジェクト

(天満宮の梅の実とキットを配布し各家庭にて梅ジュースを作成)

七月 ブラウニー部門 (在)七夕飾り作り、水遊び(南天満公園) ジュニア部



ロケットストーブ



梅プロジェクトキット

き競争・ドームテントの学習他)、有志によるロケットストーブ作りトムソーヤ企画会議(年少スカウトを楽しめる企画)

六月 カブ隊 ジオラマ作り(在)オリジナルカブ弁考案 ボーイ隊(リ)ロープ結びの練習 ベンチャーチーム(在)進級ロードマップ作成

七月 ビーバー隊 風遊び(南天満公園)他 カブ隊 武田尾廃線跡ハ

イク(オリジナルカブ弁持参) ボーイ隊 ロープ結び ベンチャーチーム(リ)地区救急章講習会へ二名参加

八月 ビーバー隊 水鉄砲で遊ぼうカブ隊 ゲームとキャンプファイヤー(境内) ボーイ隊 海釣り体験

(垂水磯釣り公園)、(リ)バター作り各月 ベンチャーチーム(個人)進級に取り組む ビーバー隊 各隊活動支援

カブ隊 ブラウニー部門 お誘い集会

五月 ブラウニー部門 (在)梅プロジェクト準備 ジュニア部門(在)パトロール章作り

六月 全部門 (在)梅プロジェクト

(天満宮の梅の実とキットを配布し各家庭にて梅ジュースを作成)

七月 ブラウニー部門 (在)七夕飾り作り、水遊び(南天満公園) ジュニア部

ジカリキュラム レンジャー部門トムソーヤ企画会議(年少スカウトを楽しめる企画)

八月 ブラウニー部門 陸渡御船渡御体験 デュニア部門 SDGsにチャレンジ シニア・レンジャー部門 陸渡御船渡御体験引率、トムソーヤ企画会議

※(在) 在宅プログラム、(リ)リモート集会

◇大阪天満宮スカウトは隨時入団募集をしています。お問い合わせは当宮社務所までお願いいたします。

## 階位検定講習会で神職資格講習

当宮では、神職資格を持つていな  
い者にも奉職の門戸を開き、事務職  
として採用された後に、本人の意思  
で養成機関等の主催する講習会を受  
講させていただけます。私はこの制  
度を志望して令和二年に奉職しまし  
た。

初年度には京都府神社庁が主催す  
る神職資格を取得できる講習会で  
「直階」の講習を受講しました。

本年は二回目となり京都國學院で  
「権正階」の講習を七月末から約一  
ヶ月の間受講させていただきました。  
この講習には全国各地から老若男  
女が集まりますが、ここでの講習は  
白衣、袴を着装して受けます。



講習会での学び



閉講報告祭の奉仕

座学の面でも古事記や祝詞など一  
般生活では触ることの出来ないも  
のを学ばせて頂きました。

また実際に自分で祝詞を書き先生  
に添削して頂けるといった機会も、  
講習に通っている時だけなので非常  
に貴重で有意義であると思いました。  
短い限られた時間だからこそ全員  
が短期で集中し、最後には試験もあ  
るのでクラスで団結して勉強をした  
思い出は、かけがえのない物になりました。

**広報室だより ②**

広報室では、急激に広がっていく  
SNS社会に対応して、当宮の祭  
典・行事などの情報を、ホームページ  
などで発信しております。

● 本号から、皆さまのご投稿を募  
る新連載「天満の天神さんと私」  
(9頁参照)が始まりました。当宮  
に参拝された想いや、天満宮会館で  
の体験談など、奮ってご寄稿くださ  
い。字数は、16字×46行を目途とし、  
写真1枚を添えて、社務所「広報室」  
へご持参かご郵送、あるいは、  
[info@osakatemmangu.or.jp](mailto:info@osakatemmangu.or.jp)  
へ送信ください。

- 気分の重い日々が続いているよ  
うが、3頁に宮司も書いていますよ  
うに「コロナ禍にあっても出来ること  
は必ずある」はずです。雲外蒼天を  
信じて、毎日を励みたいと思います。
- 連載中の名譽宮司の回顧録は、  
都合により休載しました



<https://osakatemmangu.or.jp/>



Facebook



Instagram



Twitter



またYouTube公式チャンネルもぜ  
ひご覧ください。

## 帰幽報告

大阪天満宮社報  
てんまでんじん 第80号  
令和3年9月20日印刷  
令和3年9月25日発行  
発行人 寺井種治  
発行所 大阪天満宮社務所  
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-1-8  
TEL 06-6353-0025

(長谷川 記)

西川 輝彦（享年八十三歳）  
太鼓中 総代  
長谷川将大。直階受講、仲真矢。

印刷所 木村印刷株式会社